

大都市における男女共同参画に関する市民意識調査について

※各都市の調査は、それぞれ独自の設問や選択肢等で実施されており、統計的な比較はできません。

	指標 6	指標 10	指標 13	指標 18	指標 22	指標 23
札幌市	男性は仕事、女性は家事や育児という考え方に賛成の人の割合	男性も育児休業・介護休業を積極的にとるべきであるとする人の割合	職場で男女平等と考える人の割合	「性的マイノリティ」の言葉の認知度（内容を知っている、見聞きしたことがある）	DV を経験したときに相談しなかった割合	身体的暴力以外の行為を暴力として認識する人の割合
現状値(H28)	42.4%	19.5%	17.5%	56.6%	30.1%	61.1%
目標値(R3)	30%以下	30%以上	50%以上	65%以上	20%以下	65%以上

(1)仙台市（H26,27）	46.6%	21.7%	22.9%	－	49.2%	50.2%
(2)さいたま市(H28)	31.7%	16.7%	14.2%	※ 1 42.8%	相談できなかった：10.5% 相談しようとは思わなかった：46.7%	67.9%
(3)千葉市(H26,29,30)	28.2%	※ 2 69.3%	19.7%	※ 3 97.1%	35.9%	58.0%
(4)川崎市(H30)	男性：27.7% 女性：22.9%	－	男性：26.7% 女性：18.0%	－	男性：69.3% 女性：44.3%	男性：72.4% 女性：78.1%
(5)横浜市(H30)	21.9%	※ 4 79.4%	23.6%	－	66.6%	45.8%
(6)相模原市(H30)	41.2%	※ 5 育児休業取得：90.2% 介護休業取得：93.0%	18.8%	※ 6 61.1%	60.8%	67.1%
(7)新潟市(R1)	28.3%	－	22.6%	※ 7 －	49.0%	－
(8)静岡市(H30)	－	※ 8 70.0%	22.7%	※ 9 75.3%	37.1%	56.4%
(9)浜松市(H28)	49.5%	－	18.7%	－	51.2%	48.9%
(10)名古屋市(H26)	46.0%	－	19.5%	※10 33.4%	※11 －	－
(11)京都市(H26)	37.3%	－	雇用の機会（募集・採用）：16.2% 賃金や昇進：8.6%	－	64.7%	60.8%
(12)大阪市(R1)	35.1%	－	19.4%	－	－	62.8%
(13)堺市(H27)	47.1%	※12 育児休業：77.0% 子の看護休暇：85.2% 介護休業：83.5% 介護休暇：87.0%	20.7%	－	45.4%	66.2%
(14)神戸市(H28,29)	37.5%	－	14.9%	63.0%	－	※13 67.8%
(15)岡山市(H30)	31.3%	－	－	※14 80.3%	－	68.6%
(16)広島市(H26)	35.8%	－	25.5%	－	30.2%	－
(17)北九州市(H29)	26.7%	※15 育児休業：82.8% 子の看護休暇：87.2% 介護休業：86.2% 介護休暇：88.1%	17.8%	－	45.2%	69.4%
(18)福岡市(H30)	37.6%	育児休業や子の看護休暇：26.0% 介護休業：35.5%	19.7%	※16 67.6%	※17 －	－
(19)熊本市(H30)	27.8%	－	26.6%	61.8%	※18 －	－
(20)東京都(H27)	－	－	22.9%	－	－	50.1%

類似調査項目の有無	有：18 ／ 無：2	有：9 ／ 無：11	有：19 ／ 無：1	有：9 ／ 無：11	有：13 ／ 無：7	有：16 ／ 無：4
-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

- ※ **1** 設問「あなたは LGBT という言葉について、知っていますか」
→ 知っている：32.0% 聞いたことはあるが、内容は知らない：10.8% の合計
- ※ **2** 設問「あなたは、男性が育児休業を取ることに、どのように思いますか。」
→ 積極的にとりたい・とったほうがいい：31.1% どちらかと言えばとりたい、とった方がいい：38.2% の合計
- ※ **3** 設問「LGBT または性的少数者（マイノリティ）という言葉（両方またはどちらか一方）を知っていましたか。」
→ 知っていた（意味も知っていた）：91.5% 知っていた（意味は知らなかった）：5.6% の合計
- ※ **4** 設問「男性が育児休業や介護休業・休暇を取得することについてどう思いますか。」
→ とった方がいい：47.0% どちらかといえばとった方がいい：32.4% の合計
- ※ **5** 設問「育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取得することについて、どう思いますか。」
→ 育児休業… 積極的に取得したほうがいい：56.2% どちらかと言えば取得したほうがいい：34.0% の合計
介護休業… 積極的に取得したほうがいい：56.2% どちらかと言えば取得したほうがいい：32.6% の合計
- ※ **6** 設問「次の人権課題に関連する言葉のうち、あなたが知っているものはありますか。（セクシャル・マイノリティ）」
→ 知っている：35.7% 聞いたことはある：25.4% の合計
- ※ **7** 設問「あなたは、今までに L G B T 等性的少数者に関する授業や研修を受けたり、セミナーや講演会に出席したことがありますか。（複数回答可）」
→ 就学前に：0.2% 小学校で：0.7% 中学校で：2.0% 高校で：1.9% 専門学校で：0.3% 短大、高専で：0.2% 大学、大学院で：2.0% 職場で：4.2%
地域で：0.8% まったくない：86.7% 無回答：3.8%
- ※ **8** 設問「男性が育児休業や介護休業を取得することについて、どう思いますか。」
→ 賛成する：70.0% 反対する：2.7% どちらともいえない：27.0%
- ※ **9** 設問「LGBT など性的少数者について、どの程度知っていますか。」
→ 言葉と意味の両方を知っている：41.2% 言葉は知っている：34.1% の合計
- ※ **10** 設問「次のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。」
→ 言葉とその内容も知っている：13.6% 言葉は知っているが、内容はよくわからない：19.8% の合計
- ※ **11** 設問「もし、あなたが配偶者や交際相手からの暴力やセクシュアル・ハラスメントの被害を受けた場合、どこに相談しますか（複数回答）」
→ どこ（だれ）にも相談しない：5.5%
- ※ **12** 設問「男性が休業や休暇を取得することについてどう思いますか。」
→ 育児休業… とった方がよい：35.0% どちらかと言えばとった方がよい：42.0% の合計
子の看護休暇… とった方がよい：41.6% どちらかと言えばとった方がよい：43.6% の合計
介護休業… とった方がよい：43.1% どちらかと言えばとった方がよい：40.4% の合計
介護休暇… とった方がよい：46.5% どちらかと言えばとった方がよい：40.5% の合計
- ※ **13** 設問「あなたは次の 2 つのようなことが夫婦の間（夫婦には婚姻届けを出していない事実婚や別居中の夫婦も含みます。）で行われた場合、それを暴力だと思いますか。」
（1）平手で打つ… どんな場合でも暴力にあたると思う：78.0% 暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う：21.2% 暴力にあたるとは思わない：0.7%
（2）殴るふりをして脅す… どんな場合でも暴力にあたると思う：67.8% 暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う：29.9% 暴力にあたるとは思わない：2.3%
- ※ **14** 設問「LGBT とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった総称です。身体の性と心の性が一致しており、異性を好きになるタイプに当てはまらない、いわゆるセクシュアルマイノリティを表す言葉として使われています。次の中で、あなたに最もよくあてはまるものはどれですか。」
→ もっと詳しい内容まで知っている：3.0% おおむねこの程度は知っている：44.1% 言葉ぐらいは知っている：33.2% の合計
- ※ **15** 設問「育児や家族の介護などを行うために、法律に基づき育児休業・子の看護休暇・介護休業・介護休暇を取得する制度があります。あなたは、この制度を活用して、男性が休業や休暇取得をすることについてどう思いますか（一般社会において／自分・自分の夫の場合）。」

	一般社会において			自分・自分の夫の場合		
	とった方がよい	どちらかと言えばとった方がよい	肯定派	とったほうがよい	どちらかと言えばとった方がよい	肯定派
育児休業	42.6%	40.2%	82.8%	37.0%	35.5%	72.5%
子の看護休暇	47.6%	39.6%	87.2%	41.0%	37.3%	78.3%
介護休業	44.7%	41.5%	86.2%	39.9%	39.3%	79.2%
介護休暇	48.2%	39.9%	88.1%	42.7%	38.7%	81.4%

- ※ **16** 設問「下記の言葉や施策について、あなたはどの程度知っていますか（性的マイノリティ）。」
→ 内容を知っている：37.0% 聞いたことはあるが内容は知らない：30.6% の合計
- ※ **17** 設問「DVを受けたとき、実施にはどのように行動しましたか（複数回答）。」
→ 我慢した：47.6% 相手と話し合った：28.6% 身近な人に相談した：18.2% 人生や生き方について考え直した：13.6% 離婚や別居、交際を解消した：10.9%
経済的に困らないよう、仕事を探した（働き始めた）：8.2% 仕事を変えたり、転居するなど生活環境を変えた：3.5% 行政や民間の相談機関に相談した：2.9%
何もしなかった：16.4% その他：3.8% 無回答：7.7%
- ※ **18** 設問「DVを受けたとき、どうしましたか（複数回答）。」
→ 我慢した：56.5% 抵抗、反撃した：30.2% 謝った（なだめた）：22.6% 第三者や行政機関に相談した：17.3% 逃げた：9.7% 恐怖で何もできなかった：9.7%
その他：5.6%